

## 教科目名 法学概説 (Law)

学科名・学年 : 全学科 4年 (教育プログラム 第1学年 ○科目)  
 単位数など : 選択 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 授業時間 46.5 時間)  
 担当教員 : 久保山 力也

授業の概要			
本講義では, 社会的ルールの中の1つである「法ルール」への理解を深めたうえで, 憲法・民法・刑法を中心に, 皆さんが社会人・職業人になった際に有用な日本法の基礎的な知識を紹介します。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) 法的思考の特質を理解し, 現代社会における法の役割・機能を理解する。(定期試験) (2) 立憲主義の観点から, 近代法の特質を理解する。(定期試験) (3) 日本国憲法の基本原理・構造と, 刑法の機能を理解する。(定期試験) (4) 我々の日常生活を法的観点から把握することができる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	現代社会と法 社会科学における法学の位置づけ 法的思考とは何か(1) 法的思考とは何か(2) 法とは何か(1) 法とは何か(2) まとめ	○現代社会における法の役割・機能を理解できる。 ○社会科学における法学の特質と位置づけを理解できる。 ○法的思考の特質を理解できる。 ○法ルールの特質を理解できる。	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 法はどうあるべきか(1) 法はどうあるべきか(2) 国家と憲法 立憲主義とは何か まとめ	○法の内容の多様性を理解できる。 ○国家と憲法の関係を理解できる。 ○立憲主義の観点から, 近代法の特質を理解できる。	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	日本国憲法の基本原理 日本国憲法—統治機構 日本国憲法—人権 司法制度 犯罪と法(1) 犯罪と法(2) まとめ	○日本国憲法の基本的な構造を理解できる。 ○日本の司法制度の概要を理解できる。 ○刑法とは何か, そしてその機能はどこにあるのかを理解できる。 ○犯罪の成立要件と, 刑事手続の概要を理解できる。	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24 25 26 27 28 29	後期中間試験の解答と解説 家族生活と法 財産関係と法(1) 財産関係と法(2) 労働と法 まとめ	○家族生活・財産関係・労働生活を中心に, 我々の日常生活と法の関わりを理解できる。	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	しっかり復習すること。		【総合達成度】
教科書	伊藤正巳・加藤一郎編, 『現代法学入門〔第4版〕』, 有斐閣双書		
参考図書	適宜, 講義中に紹介します。		
自学上の注意	受講前後に, 教科書および授業中に紹介する参考図書を各自で読み, 考え, 不明な箇所があれば, 積極的に質問に来てください。		
関連科目	現代社会, 政治経済。		
総合評価	達成目標(1)～(4)について4回の定期試験の平均点により評価します。総合評価60点以上を合格とします。再試験は, 総合評価が60点に満たない者に対して実施します。		【総合評価】 点